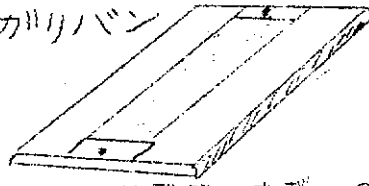


▲「研究通信」NO.17で神報告致しました
 下向。現在までの間、会計上の見直し
 はいぢがさしく好転しましたが、通
 信連絡委員の活動にも若干はより多く
 の費用を割はらるかと存じます。従つ
 て研究通信NO.2よりはNO.1の不評判を
 挽回する印刷が可能を存じます。

(中野卓平)



カリリバン

種々の花もちりほじあ
 まべてが活動する時期
 にあつてきて、おのづ
 かず科等に大きな期待と責
 務が課せられること今
 日より大なるものはな
 りであらう。

すでに関西では研究会
 発足の動きがあるとか
 大いにけい費すべきこと
 とである。とかく右親空論しがちか
 本人の専断を少なくともこの研究会に
 けはもせず、年令や地位を二えて
 のびくとした念であるように、そし
 て美学的な研究の裏りをもたせざるよ
 うにそのためのさ、やが存文とあり
 けりもの。支えとしていばるべきもの
 ものだ。研究通信を固なる連絡紙に終
 せたくないものは、新学期の始めに我
 の希望も入まい。

(編者末子)

三二二